

心の風景

私の海田町

～変わり続けるまち、
つながる思い～

第5回

海田町役場

企画課

☎ 823-9212
FAX 823-9203



◀海田町が発足した昭和31年9月30日

▼旧海田警察署に移転した海田町役場庁舎(『海田町史 通史編』より)



◀現在の海田町役場

今年で町制施行60周年を迎える海田町。当初、海田市町役場を庁舎として使用し、その後、旧海田警察署に移転しました。そして、昭和53年に現在の海田町役場が完成しました。

今回は、現在の海田町役場に移転した昭和53年に入庁し、現在はひまわりプラザで館長を務める臼井さんにお話を聞きました。

臼井 真さん

私が入庁した昭和53年の4月17日から現在の役場庁舎で業務を開始しました。それまでは仮庁舎で業務を行っており、新庁舎への引っ越しは、エレベーターもなく大変だったのを覚えています。

当時は現在よりも広々としていたと感じます。業務が多岐にわたるようになり、複雑化していったこと、電算化したことなどから徐々に手狭になっていきましたね。

保健センターの設置や、教育委員会の加藤会館への移動など変わっていく中で、住民の皆さんに特に密接に関係する課は今も変わらず1階に集約されています。それは庁舎のもつ意味として当たり前のことなのですが、住民サービスという点から考えると大切なことです。

役場というのは町の象徴の一つです。そこで働く人のためではなく、まず第一に住民の皆さんが行きやすい、利用しやすいものになることが必要です。今後変化していくと思いますが、役場が住民の皆さんにとって利用しやすい、また、憩いの場となってほしいですね。

